

【主な合併10周年記念事業】

平成27年度で合併10周年を迎える栗原市は、10周年記念としてメモリアルイベントを開催します。

ミュージカル公演事業 (5月30日)

465万円

(社会教育課生涯学習係)

家族愛をテーマにした、涙無しでは観られない、愛に溢れたミュージカル。栗原ドリームアンバサダーのAKB48岩田華怜^{いわたかれん}さんも出演します。



ミュージカルの様子

元気なくりはらっ子大会

451万円

戦略3

(子育て支援課子ども・家庭福祉係)

栗原の子どもたちが、楽しく触れ合う市民参加型の大会とすることを目的に開催している「元気なくりはらっ子大会」を拡充し、合併10周年を記念したキャラクターショー等を開催します。



元気なくりはらっ子大会2014

(仮称) 市民芸術祭 (8月2日)

463万円

(社会教育課生涯学習係)

市民が行う文化芸術活動の支援に努め、地域に根差した文化芸術の推進を図ることを目的に市民芸術祭を開催し、市政への関心の高揚と、協働によるまちづくりへの推進につなげます。



栗原文化会館震災復興記念芸術祭の様子

※かっこ内の月日は開催予定日ですので、今後変更となる場合があります。

【主な合併10周年記念事業】

2015栗原市民まつり（8月29日）

900万円
(産業戦略課商工振興係)

多くの市民の参加により一体感の醸成を図ってきた市民まつりを合併10周年を記念して内容を拡充し、さらなる飛躍と市民総参加の記念となるイベントを開催します。

2014栗原市民まつり開会式



栗原市ハーフマラソン大会（11月8日）

700万円
(社会教育課スポーツ推進係)

戦略3



昨年の栗原市民マラソン大会の様子

毎年11月に開催している栗原市民マラソン大会を拡充し、若柳地区を会場に栗原市ハーフマラソン大会を開催します。

自衛隊音楽隊コンサート

148万円
(社会教育課生涯学習係)

平成20年岩手・宮城内陸地震の際、多くの市民に勇気と希望を与えてくれた自衛隊との絆をさらに深める記念コンサート。多くの方々に親しまれている、自衛隊音楽隊のコンサートを開催します。

心にきざむ 文化講演会

222万円
(社会教育課生涯学習係)

各分野の第一線で活躍している著名人の講演を通して、市民一人一人の文化的資質を養い、自己実現を図る糧とするため、タイムリーなテーマで講演会を開催します。



昨年の文化講演会 講師 俳優 笹野 高史氏

※カッコ内の月日は開催予定日ですので、今後変更となる場合があります。

戦略 1

観光客数を、77万人から200万人まで増やします

【戦略1を達成するための主な取り組み】

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

栗駒山麓ジオパーク構想推進事業

6,514万円

（担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係）

栗駒山麓ジオパーク構想は、平成27年度の日本ジオパーク認定に向けてジオサイトの説明看板・案内看板の整備やビューポイント・ビジターセンターの整備を進め、栗駒山麓ジオパーク推進協議会の活動については、ホームページや広報誌、フェイスブックなどを活用しながら情報発信を行います。

また、ジオサイトの案内と説明を行うガイドの養成や小中学校でのジオパーク教育、モニターツアーなども行います。



ジオガイドによる視察受け入れの様子

財源 県の負担額 1,660万円 市の負担額 4,854万円

くりはら田園鉄道旧若柳駅等活用事業

3億8,131万円

（担当：企画課企画係）



くりはら田園鉄道公園資料館完成イメージ図

地元の人々の生活や産業を支え続けてきた「くりでん」。この「くりでん」の歴史を後世に伝えるため、くりはら田園鉄道公園の資料館新築・既存施設修繕工事等を行い、地域資源の活用を通して、生涯学習の場や、観光拠点施設として整備します。

財源 市の負担額 3億8,131万円（うち市債〔借入金〕3億4,340万円）

戦略 2

企業の誘致を進め、自動車関連産業など4社の誘致、

1千人の雇用を実現させます

【戦略2を達成するための主な取り組み】

■=新規事業、■=拡充事業（事業名の頭に標記）

三峰工業団地整備事業

7億2,869万円

第2大林農工団地整備事業

3億3,003万円

（工業団地整備事業特別会計）

（担当：産業戦略課企業戦略係）

高速交通網に恵まれている地の利を生かした工業団地の整備を進め、雇用の受け皿となる企業の誘致を推進し、積極的な雇用の創出・確保に努めます。



造成工事中の三峰工業団地



造成工事中の第2大林農工団地

財源 市の負担額 10億5,872万円（うち市債〔借入金〕 9億9,140万円）

戦略 3

「子育ては栗原で」をスローガンに、

【戦略3を達成するための主な取り組み】

若者の人口を1千人増やします

■住まいる栗原シェアリングタウン事業

2億1,344万円

（担当：管財課財産係）

人口減少の抑制と若者世代の定住や移住を促進するため、市が所有する未利用地を住宅分譲地として整備し、提供します。

《造成整備予定地》

定住促進築館土橋住宅

定住促進若柳川原住宅

定住促進高清水佐野丁住宅



平成26年度に整備が完了し完売した定住促進築館伊豆住宅

戦略 4

幼稚園の3年保育の実現と、

【戦略4を達成するための主な取り組み】 保育所入所の待機児童をゼロにします

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

築館地区保育所建設事業

6億7,146万円

（担当：子育て支援課保育サービス係）

0～2歳児の待機児童を解消するため、築館幼稚園に隣接して保育所を建設します。

あわせて、子どもの健やかな成長を目指し、のびのびと楽しく活動できる屋外遊具を設置したスペースを整備します。



保育所での給食の様子

財源 市の負担額 6億7,146万円
（うち市債〔借入金〕 6億2,050万円）

栗駒地区幼保一体施設整備事業

10億9,860万円

瀬峰地区幼保一体施設整備事業

5,763万円

志波姫地区幼保一体施設整備事業

8億7,984万円

一迫幼稚園整備事業

1億7,557万円

（担当：教育総務課教育施設係）



栗駒地区幼保一体施設のイメージ図

栗駒・瀬峰・志波姫地区の幼稚園・保育所・子育て支援センターを一体化して整備することで、生涯にわたる人間形成の基礎を培うとともに、健康で豊かな感性と想像力を持ったたくましい子どもの育成を目指します。

また、一迫地区幼稚園については3年保育の実現のため、施設の増築をします。

財源 国の負担額 1億5,307万円
市の負担額 20億5,857万円
（うち市債〔借入金〕 18億6,970万円）

戦略 5

「学府くりはら」を目指して、

小・中学生の学力をレベルアップします

【戦略5を達成するための主な取り組み】

新＝新規事業、 函＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

函 学府くりはら「学力向上推進事業」

1, 967万円

(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携した長期休業中の中学生の学びの場「学府くりはら塾」の開講や、学び支援コーディネーターを活用した小学生版「学府くりはら塾」、新しく高校生版「学府くりはら塾」を実施し、小・中学生及び高校生の総合的な学力向上を行います。



「学府くりはら塾」の様子

戦略 6

高齢者の施設入所待機者300人を半分にします

【戦略6を達成するための主な取り組み】

介護予防事業

3, 151万円

介護予防普及啓発事業
(介護保険特別会計)

147万円

(担当：介護福祉課認定調査係)



介護予防事業 足腰元気アップ教室

65歳以上の方で、生活機能が低下し介護予防が必要な方へ『くりはら元気アップ教室』等を開催します。

日常生活のちょっとした工夫で、心身の老化を防ぎ、自分らしい自立した生活ができるよう専門スタッフがみなさんの介護予防をお手伝いします。

財源 国等の負担額 2, 160万円
市の負担額 1, 138万円

戦略 7

市立病院の医師を増やし、充実させます

【戦略7を達成するための主な取り組み】

医学生・看護学生修学資金等貸付事業 (病院事業会計)

3, 240万円

(担当：医療管理課総務係)

医師招へい及び看護師確保を図るため、将来市立病院及び診療所での勤務を希望する医学生・看護学生に対し修学資金等を貸し付けます。

※医学生修学一時金貸付者数 平成17年度～平成25年度：17人
※看護学生修学資金貸付者数 平成22年度～平成26年度：19人